

常に心け是をいふ——此脈といふは寸  
のうへよりしる毛やうなるはた見々脈  
なりしる毛なる中より身毛をえやうのも  
きず脈といふありしうらほく時  
なるものなり——能く察せらるゝぬ下  
より上とていふゆゑなりと云ふけれ  
うは毛らやうなものをきうちを  
これと金うけ持人——お物にもいふ  
骨を皮をとりよと云ふてんそふな  
やせん——うちをとり——是にたれ